

(別紙)

水稻の出穂状況（8月11日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

- 8月11日現在、県全体で94%の水田で出穂したとみられる。
地帯別の出穂割合は、北上川上流93%、北上川下流94%、東部92%、北部96%である。
- 県全体の出穂盛期（50%出穂）は平年より1日遅い8月6日頃であり、終期（90%出穂）も平年より1日遅い8月10日頃に到達したと推定される。

表1 県内水稻の出穂状況（8月11日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	出穂割合 (%)				出穂時期								
	本年	過年次同時期			本年 (月/日)			平年 (月/日)			平年差 (日)		
		R1	H30	H29	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	93	88	73	84	8/2	8/6	8/9	8/2	8/6	8/10	0	0	-1
北上川下流	94	93	94	87	8/2	8/6	8/10	8/2	8/5	8/9	0	+1	+1
東 部	92	79	67	62	8/4	8/7	(8/10)	8/2	8/6	8/10	+2	+1	(0)
北 部	96	74	78	64	8/4	8/6	8/10	8/3	8/6	8/10	+1	0	0
県 全 体	94	90	87	84	8/2	8/6	(8/10)	8/2	8/5	8/9	0	+1	+1

注1) 出穂した水田の割合が10%を始期、50%を盛期、90%を終期（市町村単位で調査⇒作付面積による加重平均）。

注2) 平年は、平成22年～令和元年の10ヵ年の平均値。

注3) 括弧内は、一部の市町村で終期に達していないため、推定値として記載。

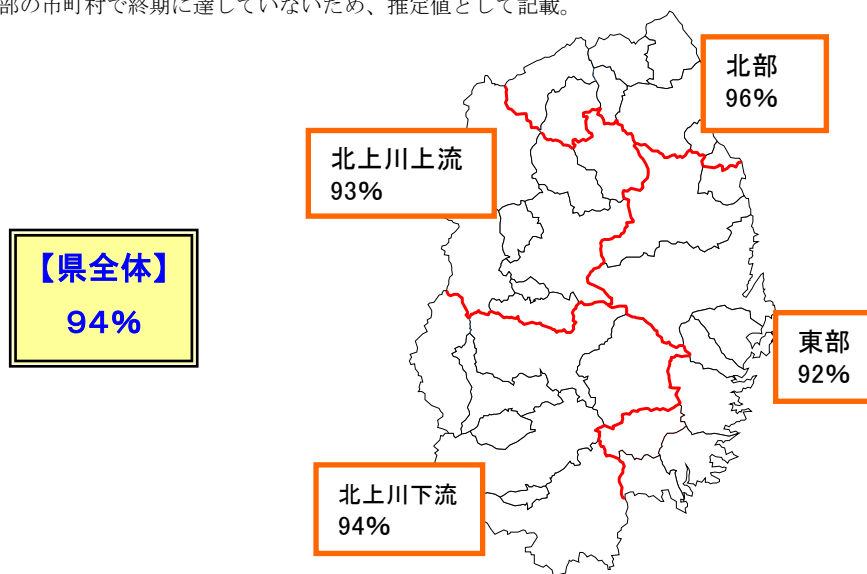


図1 水稻の地帯別出穂割合（8月11日現在：各農業改良普及センター調べ）

3 栽培管理のポイント

- 出穂・開花期間は最も水が必要な時期なので、田面が露出しないよう湛水状態で管理する。
開花終了後は間断かんがいを基本とする。
- 東北地方の1か月予報（仙台管区气象台，8月6日発表）によると、向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%と予想されている。
気温が高い日が続く場合（概ね日中30℃以上、夜間23℃以上）、高温による玄米品質の低下を回避するため、積極的な水の入替えにより地温の低下を図る（特に夜温の低下に努める）。
- 斑点米の原因となるカスミカメムシ類の発生量は「多」の予想である。
穂揃1週間後の薬剤防除を確実に実施するとともに、カメムシ増殖源となる雑草（ホタルイ類等）の多発田では、追加防除を検討する。
- 穂いもち病は基本防除を徹底するとともに、必要に応じて追加防除を実施すること。